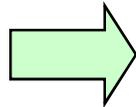


ハワイ東西センター連携事業

事業目的

ハワイ東西センター
へ奨学生の派遣



- ・グローバル社会や多様化・複雑化する社会ニーズに対応できる人材の育成
- ・アジア・太平洋諸国とのネットワーク形成

事業内容

・ハワイ東西センター及びハワイ大学に社会人等を派遣する事業で、以下の2つの奨学金制度（小淵沖縄教育研究プログラム）により、留学生を支援する。

小淵沖縄教育研究プログラム

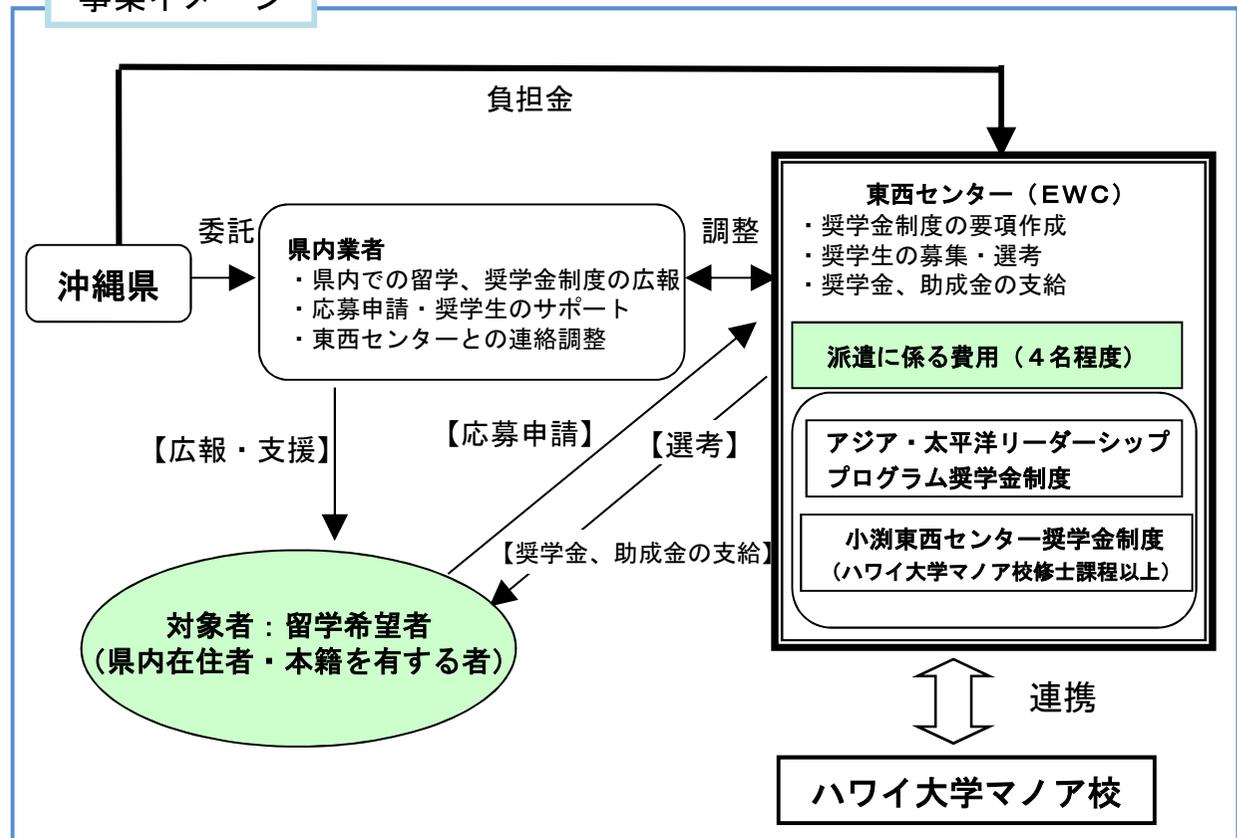
小淵東西センター奨学金制度 (ハワイ大学マノア校)

東西センターに所属しつつ、ハワイ大学マノア校の修士課程以上を履修する学生に対する奨学金制度【最長24ヶ月】

アジア・太平洋リーダーシップ プログラム奨学金制度

東西センターで提供されるリーダーシッププログラムを履修する者を対象とした奨学金制度【期間：5ヶ月】

事業イメージ



小渚沖縄教育研究プログラムについて

経緯

同プログラムは、沖縄のアジア・太平洋地域との教育研究方面での連携を深めるとともに、より平和で繁栄したアジア・太平洋地域の構築に沖縄が貢献するために必要となる人材の育成を目的としており、日米両政府の合意に基づき設立された留学プログラム。(平成12年(2000年)創設。現在は、ハワイ東西センターと沖縄県により継続されている。)

平成12年7月に本県で開催された九州・沖縄サミットを機に日米両政府の合意のもと創設されたもので、本県の振興に尽力された故小渚首相に捧げる趣旨でその名称が名付けられた。

概要

事業主体:ハワイ東西センター(ハワイ大学に隣接している独立研究機関)

事業内容:沖縄県の振興を担う人材の育成を図るため、産業、経済、学術、教育文化等の分野において、ハワイ大学大学院等への留学を希望する者から派遣者を選考し、学費等支援及び人材育成プログラムを実施する。

(1)小渚東西センター奨学金(ハワイ大学大学院へ派遣する学位取得プログラム)

実績:35名(2021年7月現在)

(2)アジア・太平洋リーダーシッププログラム(東西センターのセミナーを聴講するプログラム)

実績:10名(2021年7月現在)

(3)小渚国際交流基金フェローシップ(ハワイ大学大学院へ派遣する博士学位取得プログラム)※現在終了したプログラム

実績:25名(2008年で終了)

東西センターについて

1 概要

米国とアジア・太平洋諸国間の相互理解と関係強化、平和で安定し繁栄したアジア・太平洋共同体構築の促進を目的に、1960年に米国連邦議会によりハワイ州に設立された国際的認知度の高い教育研究機関。

現在、約5万人の修了生が米国、アジア・太平洋諸国のリーダーとして活躍しており、世界規模の人材ネットワークを構築している。

2 沖縄県との関わり

東西センターは、1960年代から1972年にかけて本県から400人以上の研究者・学生を受け入れ、沖縄の戦後復興を担う人材育成に大きく貢献してきた実績がある。そのため当センターは、本県との歴史的な深い関わりを重視しており、沖縄県との将来的な連携強化についても期待している。

